

土地改良事業計画概要書（変更）

県営山谷稲葉地区

区画整理（経営体育成基盤整備「一般型」）事業

目 次

第1章 目 的	1
第2章 地域の所在及び現況	2
第3章 基本計画	6
第4章 工事又は管理の要領	8
第5章 換地計画の概要	10
第6章 費用の概算	15
第7章 効 用	16
第8章 他の事業との関連	17
第9章 計画概要図	18

第1章 目的

本地区は十日町市中央に位置した水田地帯で、昭和41年から昭和45年に7aから20a区画で整備されている。農道の多くが全幅3.0m未満と狭く、大型機械化に対応できない状況にある。用排水路は大部分にフリュームが設けられているが、50年以上が経過し老朽化により機能低下が著しく、また一部は土水路や用排兼用水路であるため、維持管理に労力を費やし営農及び水管理に苦慮している。

このため、本地区は区画整理事業により農業生産基盤の整備を実施し、生産環境の改善を図り、本事業を契機に設立される農業法人や、経営規模拡大を目指す認定農業者等の意欲ある経営体へ農地の集積を進める。また、大型機械の導入により作業効率の向上を図り、生産コストの低減を進め、安定した農業経営の実現を目指す。さらに、用排水路施設の整備により、収益性のある高品質な水稲、園芸作物の栽培を進め、複合経営により収益の安定化を図り、農業の競争力強化を目指すものである。

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域及び地積

1. 地域

事業名	地域
区画整理	十日町市山谷、稲葉、沖立、上新井、樽沢乙、小泉

2. 地積

(令和8年3月現在)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)
	市町村名						
区画整理	十日町市	76.8 78.0	6.0	—	—	16.3 18.8	99.1 102.8
	—	—	—	—	—	—	—
	計	76.8 78.0	6.0	—	—	16.3 18.8	99.1 102.8
合計		76.8 78.0	6.0	—	—	16.3 18.8	99.1 102.8

第2節 地 形

本地区の標高は、最高279.9m、最低155.1mとなっており、地形勾配は西から東へ平均1/26の勾配となっている。

第3節 地質及び土壌

土壌はD30（強グライ土壌強粘土還元型）、D32（強グライ土壌粘土還元型）、E40（グライ土壌強粘土構造型）である。

第4節 気象及び海象

1. 一般気象

本地区の気象データは気象統計情報（気象庁）及び水分統計資料〔第13版〕（新潟県農地部）から引用する。

観測所名	十日町観測所		かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	S54～H30		5月～9月	10月～4月		
平均気温（℃）			20.9	5.1	11.7	S54～H30
降水量	平均	(mm)	798	1715	2513	S54～H30
	基準年	(mm)	618	1386	2004	平成元年
降水日数	平均	(日)	65	137	202	S54～H30
	基準年	(日)	72	135	207	平成元年
根雪期間			12月13日 ～ 4月15日		124 日間	新潟気象地方台
無霜期間			3月30日 ～ 11月25日		241 日間	新潟気象地方台
最多風向			南南西	最大風速 (風 向)	23.1m/s (南南西)	最多風向発生時期 12月 最大風速発生年月日 H 24.4.3

2. 特殊気象

観測所名	十日町観測所		1位			2位			3位		
観測期間 S54~H30		数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	
最大日雨量 (mm)		200.0	2005.6.28	1/100	193.5	2011.7.28	1/80	188.0	2011.7.29	1/60	
最大時間雨量 (mm)		121.0	2011.7.29	—	71	2001.8.4	—	62.0	2018.8.15	—	
最大4時間雨量 (mm)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続雨量 (mm)		574.5	2011	1/40	540.5	2012	1/25	535.0	1981	1/25	
最大連続干天日数 (日)		310	1957	1/500	48	1985	1/60	32	2006	1/10	
/		4位			5位			備考			
		数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率				
		180.0	1978.6.27	1/50	119	1995.7.8	1/8				
		53	2005.9.3	—	51.5	2010.8.6	—				
		—	—	—	—	—	—				
		494.0	1964	1/20	462.0	1984	1/10				
		28	2009	1/5	26	1983	1/5				

3. 海象

該当なし

第5節 水利状況及び営農状況

1. 水利状況

本地区の現況用水系統は、河川からの取水の他、地区内にある複数のため池、深井戸などによりかんがいを行っている。

2. 営農状況

農業生産は水稲の他、トマト、アスパラ菜、かぼちゃなど畑作物の栽培を行っている農家が多い、しかし、農業従事者の高齢化により、農地の維持管理作業に多大な労力を費やしているとともに、後継者不足や認定農業者への集積が思うように進まない等、問題がある。

第6節 地域環境の概況

1. 植物・動物等生態系の概況

平成30年6月4日及び10月16日に行われた「生き物調査」から、トノサマガエル、クロサンショウウオ、アカハライモリ、マルタニシ、ドジョウ、キタノメダカ、ウラギンスジヒョウモン、ゲンジボタル、カワニナ等の多種多様な生き物の生息が確認された。

2. その他、地域環境の概況

本地区は、一級河川信濃川の河岸段丘に広がる水田地帯で、段丘斜面には林地体が帯状に広がり豊かな自然に恵まれており、多様な野生物が生息・育成している。

さらに信濃川水系が用水源で水質も良好である。水環境は水の流れの連続性が確保され、湧水や澄んだ緩やかな流れがあり、砂礫ないし砂泥底の水草のある良好な環境となっている。

第3章 基本計画

第1節 要旨

本計画は、区画整理79.6haによる大区画化や用排水路を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農地集積の加速化を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。

区画割は、営農作業の効率化や現況地形を勘案して、100a区画(長辺125m×短辺80m)を基本とし整備を行う。道路計画は、支線道路として全幅5.0m(有効幅員4.0m)の敷砂利舗装を基本とする。用水計画は水の有効利用及び水管理の合理化を図るために自然圧パイプラインかんがい方式とする。排水計画は、開水路方式として計画する。

第2節 一般計画

事業名 土地 利用区分	区 画 整 理						計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
事業目的								
区画整理	76.7 77.0	3.5	—	—	—	80.2 80.5	80.2 80.5	
計	76.7 77.0	3.5	—	—	—	80.2 80.5	80.2 80.5	

第3節 環境配慮計画

目指す地域環境の姿

- ・地域の将来像 本地域は区画整理により効率的な農業経営が可能となる農業生産基盤整備を実施し、自立した農家の育成を目指す。また、動植物に配慮した農業生産基盤の整備と環境保全型農業の実施、農地や農業用排水施設・農道施設の維持管理・保全活動を進める。
- ・環境配慮の進め方 生き物の生息・生育環境としての農地の整備と生産性の確保との両立を考慮する。
本地区の環境指標種として、ゲンジボタル、キタノメダカを選定した。
ゲンジボタルはカワニナ、キタノメダカは藻等を食するため、これらを食する生物も生息できる水路を整備する。具体的には水路底には泥地を確保し、流れの緩やかな水域となる水路にする必要があるため、環境配慮として石積護岸水路とする。
- ・維持管理体制 十日町土地改良区と連携し、地域住民が主体となり日常管理を行う。

第4章 工事又は管理の要領

第1節 工事の内容

事業名	工事内容		数量	備考
区画整理	整地工		80.2 80.5 ha	
	道路工	幹線	— km	
		支線他	13.9 km	
		連絡農道	— km	
	用水路工	幹線	— km	
		支線他	16.8 km	
		水源施設	— 箇所	
	排水路工	幹線	— km	
		支線他	14.8 km	
		排水施設	— 箇所	
		暗渠排水工	56.7 77.1 ha	

第2節 管理の要領

1. 管理者

十日町土地改良区

2. 管理すべき施設の種類

用水路、排水路、農道、ため池、ファームポンド等

3. 管理方法に関する基本的事項

維持管理計画書に基づき、関係農家、土地改良区が連携して管理する。

第5章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

換地選定を行う上での基本的方針として、関係農家の意向を十分に調査・把握する。
また、区画整理を契機に優良農地の保全を図り、担い手の育成、利用権設定の促進、地域農業の維持向上を図る。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

換地区名	換地区の所在	面積
全換地区	新潟県十日町市山谷、稲葉、沖立、上新井、樽沢乙、小泉	99.1 ha 102.8 ha

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地籍の基準

換地区名	地 籍 の 基 準
全換地区	換地交付の基準とする従前の土地の地籍は、土地改良事業計画決定の日の登記地積とする。ただし、上記の日から3カ月以内に測量士、測量士補または、土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地籍とする。

2. 用途別予定地積

(単位：ha)

(第25表-3)

用途 (取得予定者)	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一 般 国 公 用 地	総 合 計					
	換 地 区 名	前	後	田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行地 域に含める土地 (令第1条の 9()書き)			計	本事業によっ て生ずる土地 改良施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計			国	県	市 町 村 等	合 計	
								土 施 地 改 良 設	そ の 他	小 計		土 良 地 改 区	そ の 他	計			宅 地	そ の 他	小 計		農 業 設 計 合 理 化	施 設 用 地 合 理 化	生 活 上 の 施 設 用 地	公 設 用 地 共 用 施 設	宅 地 等								計
全 換 地 区	従前の 土地	76.8	78.0	6.0	-	3.1	3.2	2.2	-	2.2	88.1	-	-	-	-	88.1	-	0.7	0.7	-	-	-	-	-	0.7	-	-	10.3	10.3	-	99.1		
	換地	76.7	77.0	3.5	-	0.1	0.2	1.7	-	1.7	82.0	8.1	-	8.1	-	90.1	-	-	0.8	-	-	-	0.1	-	1.1	1.9	-	-	7.1	7.1	-	99.1	
合 計	従前の 土地	76.8	78.0	6.0	-	3.1	3.2	2.2	-	2.2	88.1	-	-	-	-	88.1	-	0.7	0.7	-	-	-	-	-	0.7	-	-	10.3	10.3	-	99.1		
	換地	76.7	77.0	3.5	-	0.1	0.2	1.7	-	1.7	82.0	8.1	-	8.1	-	90.1	-	-	0.8	-	-	-	0.1	-	1.1	1.9	-	-	7.1	7.1	-	99.1	

3. 農用地集団化の方針

換地区名	区分 地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当りの目標団地数	区画畦畔の取扱
全換地区	○担い手農家への集団化 地区内で活動する担い手農家のため利用権設定、作業委託の一層の促進を図り、関係者の総意を得て、出来るだけ集団化を図るものとする。	担い手(中心経営体)の営農効率が向上するよう合理的な土地利用計画を策定し、換地選定を行い集団化する。	各農家の農地はできるだけ大規模に集団化を図るものとし、1戸あたりの団地数は、概ね3団地を目標とする。	固定畦畔とする。

4. 非農用地の換地方法

区分 換地区名	用途	非農用地区域の 位置の概要	面積 (㎡)	換地手法	換地取得者	その他
全換地区	工場用地	十日町市山谷、稲葉 地内	5,165 4,590	特定用途用地換地	従前の土地所有者	
	工場用地	十日町市山谷、稲葉 地内	5,000	不換地見合いの 創設非農用地換地	従前の土地所有者	
	駐車場用地	十日町市稲葉地内	1,507 1,480	特定用途用地換地	従前の土地所有者	
	— 駐車場用地	— 十日町市山谷地内	— 600	— 異種目換地	— 従前の土地所有者	
	— 営農施設	— 十日町市山谷地内	— 3,070	— 特定用途用地換地	— 十日町土地改良区	
	— 資材置場	— 十日町市山谷、稲葉 地内	— 5,000	— 不換地見合いの 創設非農用地換地	— 従前の土地所有者	
	— 既存住宅等	— 十日町市山谷、稲葉地内	— 6,080	— 特定用途用地換地	— 従前の土地所有者	
	— 既存住宅等	— 十日町市山谷、稲葉地内	— 1,260	— 特定用途用地換地	— 従前の土地所有者	
	— 既存住宅等	— 十日町市山谷、稲葉地内	— 1,180	— 特定用途用地換地	— 稲葉集落	
	— 鉄塔用地	— 十日町市山谷、稲葉 地内	— 849 1,790	— 特定用途用地換地	— 東北電力(株) 東京電力パワーグリッド(株)	
	— 道路用地	— 十日町市山谷、稲葉 地内	— 500	— 不換地見合いの 創設非農用地換地	— 十日町市	— 市道稲葉高城 沢線改良
	— 計	—	—	18,021		

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

標準地比準方式

2. 清算の方法

増加額比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

換地区名	区分	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分予定年度	備考
全換地区		令和3年度 ～ 12 令和8年度	13 令和9年度	13 令和9年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

地区内の区画形状の変更に係わる工事が全て完了し、確定測量が実施されたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定にかかわらず、換地処分ができるものとする。

第6章 費用の概算

(単位：千円)

事業名等 区分	区画整理	合計	備考
主要工事	3,624,000	3,624,000	112,000 内地方事務費 109,100
	2,312,900	2,312,900	60,000 内工事雑費 44,800
付帯工事	—	—	

事業名等	区分	国		県		市町村		地元		計	
		割合 (%)	負担額 (千円)	割合 (%)	負担額 (千円)	割合 (%)	負担額 (千円)	割合 (%)	負担額 (千円)	割合 (%)	負担額 (千円)
区画整理	工事費	55.0	1,898,600	27.5	949,300	10.0	345,200	7.5	258,900	100.0	3,452,000
			1,187,450		593,725		215,900		161,925		2,159,000
	工事雑費	0.0	0	100.0	60,000	0.0	0	0.0	0	100.0	60,000
				44,800							44,800
	地方事務費	0.0	0	100.0	112,000	0.0	0	0.0	0	100.0	112,000
					109,100						109,100
	計		1,898,600		1,121,300		345,200		258,900		3,624,000
			1,187,450		747,625		215,900		161,925		2,312,900

第7章 効用

事業名等	項目 区分	年総効果(便益)額 (千円)	年総増加農業所得額 (千円)	備考
区画整理	作物生産効果	71,330 46,476	11,756 30,061	総費用(現在価値化) = 4,100,213 2,202,681 千円
	営農経費節減効果	83,660 49,406	91,186 56,662	
	維持管理費節減効果	△ 331 △ 575	△ 220 △ 258	総便益(現在価値化) = 4,377,129 2,506,636 千円
	耕作地放棄防止効果	101 43	- -	<u>4,377,129</u> 4,100,213 1.06
	農業労働環境改善効果	29,849 24,929	- -	総費用総便益比 = $\frac{2,506,636}{2,202,681} = 1.13$
	災害防止効果(農業関係資産)	547 338	- -	<u>17,745</u> 102,722 17.3%
	災害防止効果(一般資産)	1,145 706	- -	
	景観・環境保全効果	3,367 2,755	- -	増加所得償還率 = $\frac{9,973}{86,465} = 11.5\%$
	国産農産物安定供給効果	10,554 10,549	- -	
	計	200,222 134,627	102,722 86,465	

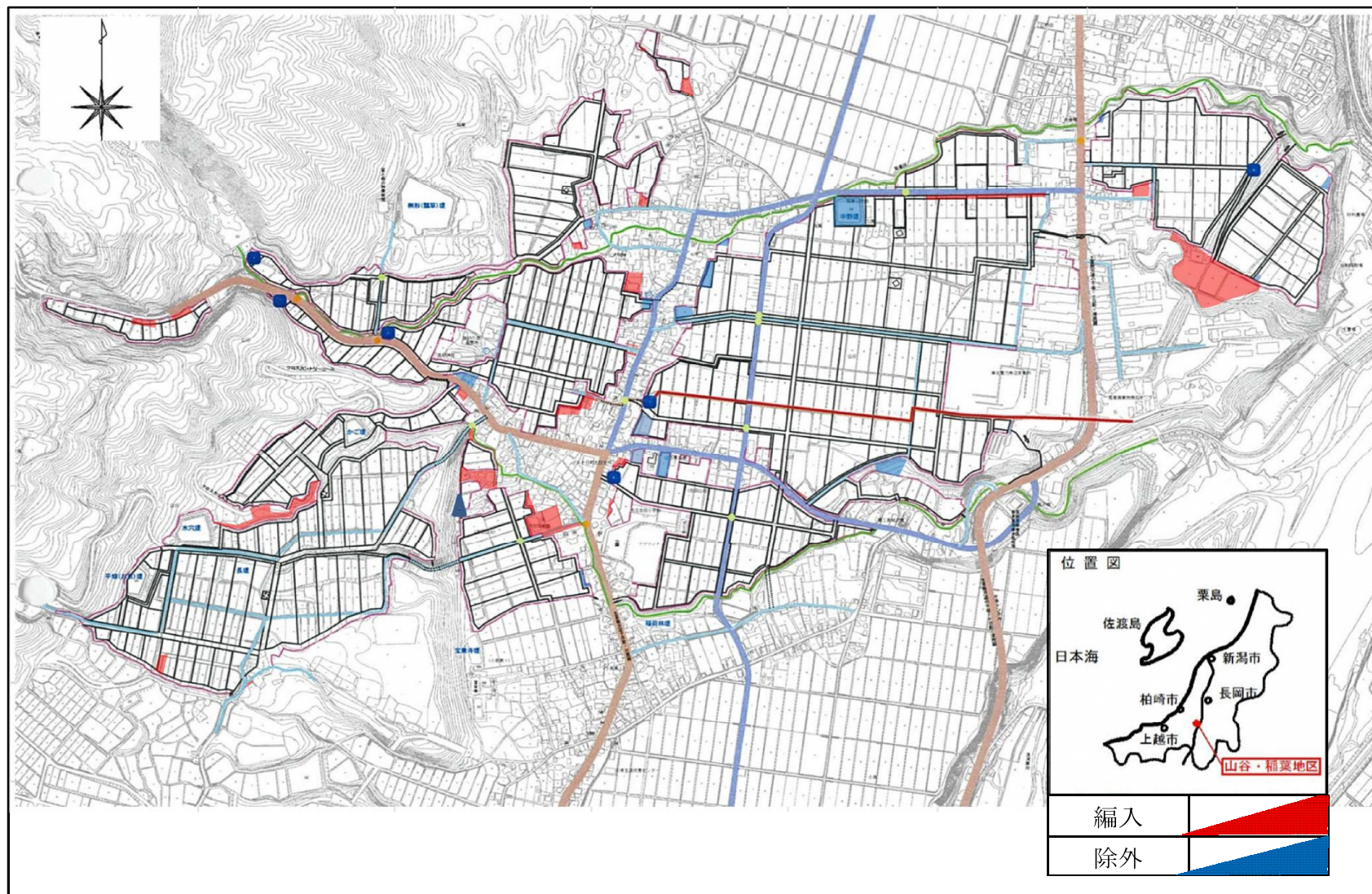
第8章 他の事業との関係

区分	事業名	事業主体	受益面積(ha)	事業内容
効用関連	県営ため池等整備事業 稲葉地区	新潟県	38.5	ため池整備1箇所

第9章 計画概要図

別紙計画一般図のとおり

計画一般図 県営山谷稲葉地区 区画整理(経営体育成基盤整備「一般型」)事業 (変更前)



計画一般図 県営山谷稲葉地区 区画整理(経営体育成基盤整備「一般型」)事業 (変更後)

